

委員会名（総務委員会）

項目名：地域公共交通利用者増加に向けた都城駅待合室等の整備に関する政策提言書
に対する政策評価書

年 度	令和7年度
提言番号	令和5年度 — 総務委員会
提言項目	地域公共交通利用者増加に向けた都城駅待合室等の整備に関する政策提言書
具体的な内容	<p>本市の玄関口である都城駅が利用者にとって利用しやすい駅となり、地域交流の場・賑わい創出の場として「行きたくなる駅」「集いたくなる駅」となることで公共交通利用者の増加に繋がるよう、JR九州と連携し、取組を行うこと。</p>
提言後の取組及び現状	<p>令和5年度に政策提言を提出。提言後、早々に高専生等を巻き込んだ取組がなされた。都城駅1階に交流スペースが整備され、令和7年10月26日から供用開始された。</p> <p>整備にあたっては、高専生等がワークショップを重ね、デザインも手掛け、学生など多くの意見が取り入れられた。施設名も「MiyaConnect 学びと出会いがつながる駅前拠点」と高専生が名付けた。</p> <p>始発便から最終便まで、高校生だけでなく一般客も無料で利用できる施設となっている。電源、Wi-Fiの設備が整えられており、コワーキングスペースとしての活用や、学生・ビジネスマンが利用しやすい空間になっている。また、学生の発案で畳の小上がりスペースもあり、赤ちゃんや幼児を連れた乗降客にも使いやすい、とても温かい雰囲気に仕上がっている。</p> <p>東側のバス停に向かっている面は全面ガラス張りとなっており、防犯対策もできている。</p> <p>総務委員会での視察時にも数人利用者がおり、学生達がタブレットを開いたり、ノートをめくったりしており、使いやすさが感じられた。</p> <p>スタートしたばかりではあるが、現在の駅利用者はもちろん、今後の公共交通利用者の増加につながる一助となるものであり、今後の成果に期待したい。</p> <p>(※入り口の自動ドアの開閉時に、不快な音がしていた。)</p>
進捗の状況	ア「実施済み」

施策に対する評価	力) 「概ね議会の意図したとおりである」
議会の意見	<p>今回、総務委員会の提案により本市の玄関口である都城駅が利用者にとって利用しやすい施設になったことは、高く評価できる。また、主に駅を利用する学生たちの意見を取り入れて整備されたことも評価したい。</p> <p>市や議会、若者が一緒になって、まちづくりに取り組んだ良い事例になる。</p> <p>提言時には2階の空きスペースも含めた整備を考えていたが、防犯上の問題点を考慮し、1階部分の整備に留まっている。今後、「MiyaConnect 学びと出会いがつながる駅前拠点」の認知度が高まり、利用が増えれば、利用者の意見を取りまとめながら、次の展開として2階部分の活用も検討し、改善に努めていただきたい。駅全体のリニューアルが進めば、都城駅への注目度もさらに高まり、提言の当初の目的であったJR利用者の増加に繋がると考える。公共交通ネットワークの核となる場所として、都市計画にも活かして欲しい。</p> <p>また、地域交流の拠点として、駅利用者だけでなく、多くの方に利用してもらう居場所として、十分な周知が必要である。</p>